



京葉銀行

ミニディスクロージャー誌

2022

2022年3月期 営業のご報告



α ACTION PLAN 2024

～さらなる進化～

計画期間 2021年4月～2024年3月

「さらなる進化」に込めた想い

前第18次中計における取り組みを、本中計で新たなステージへ進化させることで、地域のお客さまとともに「成長の好循環」を生み出す。こうした私たちの姿勢、意思を込めています。

3つの基本戦略

課題解決型営業の強化

地域社会やお客さまの課題を発掘し、解決策の提示と実行支援に取り組み営業を強化します。

生産性の向上と人財の育成

デジタル技術を活用し、銀行とお客さま双方の生産性向上を図るとともに、課題解決を行うための人財を育成します。

経営基盤の強化

リスクとコストを適切にコントロールすることで、経営基盤を強化し、地域とともに持続的な成長を目指します。

目標とする主な経営指標

親会社株主に帰属する
当期純利益

80億円

OHR(単体)

60%台

自己資本比率(連結)

11%程度

Contents

- 1 トップメッセージ
- 2 ACTION PLAN 2024
- 3 財務ハイライト(単体)
- 4 非財務ハイライト

京葉銀行のここに注目

5 KEIYO TOPICS

京葉銀行のSDGs

6 京葉銀行グループSDGs宣言

7 地域経済・社会への取り組み

9 ダイバーシティ&インクルージョンへの取り組み

11 環境保全への取り組み

13 株式情報 / 当行のプロフィール



確かな“きずな”を、
未来へ。

取締役頭取 熊谷俊行

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症によりさまざまな影響を受けられている皆さまに心からお見舞い申し上げます。

少子高齢化・人口減少、低金利政策の長期化に加え、長引くコロナ禍を経て、ライフスタイルの多様化やデジタル技術の活用など、金融機関を取り巻く経営環境は大きく変化し、またそのスピードは一層増しています。

このような環境下、当行は2021年4月よりスタートした中期経営計画「α ACTION PLAN 2024～さらなる進化～」のもと、コロナ禍で影響を受ける企業への資金繰り支援はもとより、企業や地域社会の課題解決へのサポート、あるいは多様化するお客さまの行動様式への対応、さらには社会的要請ともいえるESG・SDGsにかかる取り組みなど、地域金融機関としての社会的使命と責務を果たすべく、各種施策を進めております。

計画初年度である2022年3月期決算は資金利益および役務取引等利益が順調に推移したほか、与信関連費用の抑制などにより当初の計画を上回る経営成績となりました。これもひとえに、皆さまの温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。なお、これにより当期の年間配当金は1円50銭の増配となる、1株当たり20円50銭とさせていただきます。

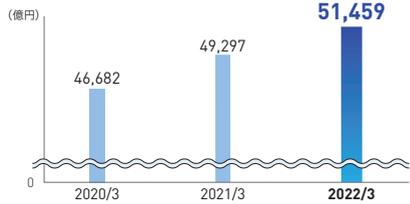
また、当行は来年3月に創立80周年を迎えます。つきましては、株主の皆さまをはじめとする関係各位の永年に亘るご支援、ご愛顧に感謝の意を表し、2023年3月期の1株当たりの配当金は80周年記念配当1円を加えた22円となる予定です。

これからすべてのステークホルダーの皆さまのご信頼とご期待にお応えし、千葉県経済の持続的な成長に貢献すべく、京葉銀行グループ役員一同さらなる努力を重ねてまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

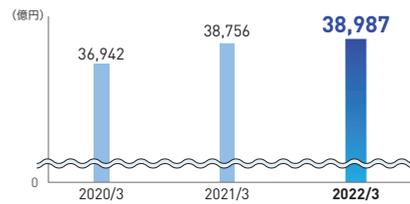
2022年6月

財務ハイライト(単体)

預金残高 **5兆1,459億円**
(前期比2,162億円増)



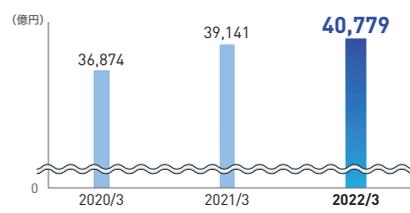
貸出金残高 **3兆8,987億円**
(前期比230億円増)



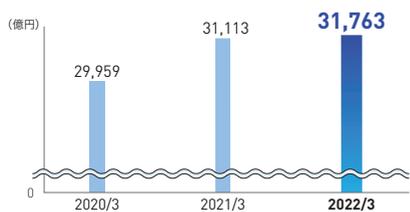
経常利益 **157億円**
(前期比42億円増) | 当期純利益 **110億円**
(前期比37億円増)



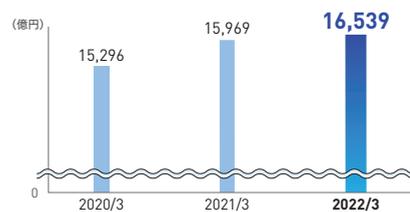
個人預金残高 **4兆779億円**
(前期比1,638億円増)



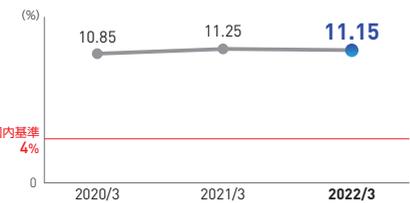
中小企業等向け貸出金残高 **3兆1,763億円**
(前期比649億円増)



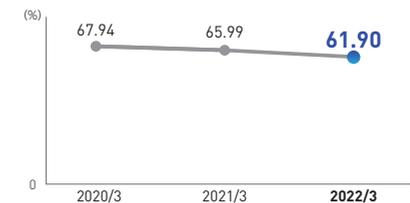
住宅ローン残高 **1兆6,539億円**
(前期比570億円増)



自己資本比率 **11.15%**
(前期比0.10ポイント低下)



OHR **61.90%**
(前期比4.09ポイント低下)



※数値が小さいほど効率性が高いことを示します。

非財務ハイライト

ESG関連投資融資額
614億円
(2021年4月1日～2022年3月31日)

ビジネスマッチング成約件数
912件
(2021年4月1日～2022年3月31日)

SDGs寄付型私募債累計実績
【2020年8月から取扱開始】
受託件数 **181件** | 寄付額 **2,628万円**
(2022年3月31日現在)

育児休業取得率^(※)
男性 **76%** | 女性 **98%**
(2021年4月1日～2022年3月31日対象者)

育児短時間勤務制度利用人数
186人
(2021年4月1日～2022年3月31日利用者)

指導的地位に占める女性比率
【係長以上の役付行員】
28.3%
(2022年4月1日現在)

正行員に占める定年再雇用者比率
10.5%
(2022年3月31日現在)

社外取締役比率
40.0%
(2022年6月28日現在)

女性役員数
2人
(2022年6月28日現在)

※育児休業取得率は厚生労働省で定めている「年度内に育児休業を開始した労働者数／年度内に出生した労働者数(配偶者が出生した場合も含む)」で算出しています。女性については産後休暇を含む育児休業取得率は100%です。

外部からの評価

「えるぼし」
女性活躍推進法に基づき、女性活躍に関する取り組みが優良な企業の認定

「プラチナくるみん」
次世代法に基づき、高い水準で子育てサポートに取り組んでいる企業の認定

「イクメン企業アワード2018 両立支援部門」
厚生労働省による男性の育児と仕事の両立を促進し、業務改善を図る企業を表彰する制度

「健康経営優良法人2022」
地域の健康課題に即した取り組みや、日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実施している法人を顕彰する制度

KEIYO TOPICS

●ファンドラップサービスの取扱開始

2022年6月、株式会社りそな銀行を投資一任業者とするファンドラップサービスの取り扱いを開始しました。

当行では、お客様の大切な資産と未永く、共に歩むため、お客様の資産運用に関する課題・目標・ニーズをお伺いし、お客様と共に考え、ライフプランに合った最適な資産配分をご提案します。また、運用開始後も定期的にご資産の状況の報告やご意向の確認を行うなど、お客様お一人おひとりに合わせたきめ細かく、質の高いサービスを提供していきます。



●ビジネス商談会の開催

2022年2月、りそなグループと共催で、株式会社千葉薬品の新規仕入先を募集する「ビジネス商談会」を開催しました。

対面とWebの併用により、バイヤー企業である株式会社千葉薬品と、当行およびりそなグループのお取引先の全国のメーカー、卸売業者を引き合わせることで新たな商流の創出の機会となりました。

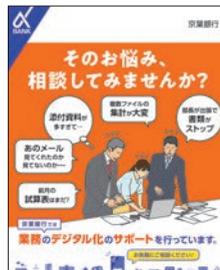
当行は、お取引先企業のビジネスマッチングを後押しすることで、地域経済の活性化に貢献してまいります。



●ICTコンサルティングの本格稼働

freee株式会社と業務提携し、地域のお客さま向けICTコンサルティングサービスを本格稼働しました。

当行はお客さまへのデジタル化支援を強化すべく、デジタル技術やコンサルティングノウハウを学んだ行員によって編成された「ICTコンサルチーム」を中心に、freee株式会社が提供するクラウド会計ソフト等をお客さまにご紹介します。導入の提案から導入後の活用のサポートまで行い、お客様の業務効率化や生産性向上を支援しています。



京葉銀行グループ SDGs宣言

京葉銀行グループは、国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の趣旨に賛同し、次に掲げる重点項目に全役職員が主体的に取り組むことで、地域の持続的成長の実現を目指してまいります。

重点項目1 地域経済・社会

お客さまや地域の課題解決を支援することで、地域経済の発展に貢献してまいります。

対応する主な目標

重点項目2 ダイバーシティ&インクルージョン

個人の多様性を尊重し、誰もが仕事や生活を充実させ、自分らしく活躍できる社会づくりに貢献してまいります。

対応する主な目標

重点項目3 環境保全

社会全体の環境負荷低減と環境保全に取り組み、低炭素・循環型社会の実現を目指してまいります。

対応する主な目標

●SDGsとは?

人類は、貧困、紛争、テロ、気候変動、資源の枯渇など、数多くの課題に直面しています。このままでは、安定してこの世界で暮らし続けることができなくなってしまふ...そんな問題意識から、国連において、すべての人々にとってより良い世界をつくるために課題を整理し、採択された「2030年までの達成を目指す17の目標」が、「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)」です。



主な取り組み

重点項目	主な取り組み	SDGs目標	取り組みの詳細	参照頁
地域経済・社会	地域・社会貢献	1, 2, 3, 4, 8	[SDGs取組支援サービス][αBANK SDGsローン]の取扱開始	P.7-8
			[京葉銀行SDGs寄付型私募債]を通じた寄付	
地域経済・社会	地方創生	8, 9, 10, 17	[TABLE FOR TWO](TFT)プログラム導入	P.7-8
			香取市佐原における町おこし いすみ市にてスタディーツアーを開催	
ダイバーシティ&インクルージョン	ワークライフバランスの充実	3, 5, 8	男性の育児休業取得の促進	P.9-10
			[健康経営優良法人2022(大規模法人部門)]の認定	
ダイバーシティ&インクルージョン	多様な人材が活躍できる環境整備	5, 8, 10, 17	シニアスタッフ行員制度	P.9-10
			女性の活躍を推進	
ダイバーシティ&インクルージョン	誰もが暮らしやすい社会づくり	3, 8, 17	[おりづるガチャプロジェクト]を応援	P.9-10
環境保全	環境へ配慮した取り組み	7, 11, 12, 13	[サステナビリティ委員会]の設置と目標の設定	P.11-12
			[αサステナビリティ・リンクローン][αグリーンローン]の取扱開始 千葉みなと本部の再生可能エネルギー電力への切り替え	
環境保全	千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト	2, 4, 7, 11, 12, 14, 15, 17	竹林整備事業の実施	P.11-12
			廃棄コスメを利用したお絵描き&ゴミ拾いイベント	

京葉銀行のSDGs

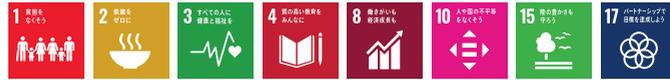


SDGs宣言

地域経済・社会への取り組み

お客さまや地域の課題解決を支援することで、地域経済の発展に貢献してまいります。

地域・社会貢献



地域金融機関として金融仲介機能とネットワークを活かし、地域活性化や社会貢献に取り組んでまいります。

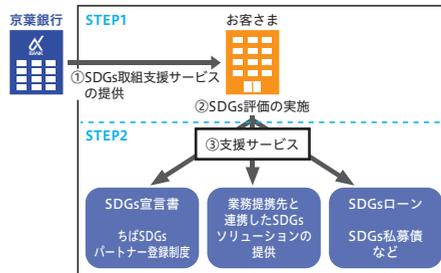


「SDGs取組支援サービス」「αBANK SDGsローン」の取扱開始

2022年4月、事業者さまのSDGs経営を促進するため、「SDGs取組支援サービス」「αBANK SDGsローン」の取り扱いを開始しました。

「SDGs取組支援サービス」は、SDGsに関する取り組みの現状把握(強み、弱み)から推進策までを可視化できる支援サービスで、そのサービスを活用し、SDGsを推進する法人・個人事業主のお客さまを対象とした、「αBANK SDGsローン」などを提供しています。

<SDGs取組支援サービス スキーム図>



「京葉銀行SDGs寄付型私募債」を通じた寄付

当行が私募債の発行企業さまから受け取る手数料の一部を拠出し、医療・教育・地方公共団体や公益的な活動を行う団体・法人等に寄付を行うもので、寄付先は発行企業さまにお選びいただけます。2021年度は「京葉銀行SDGs寄付型私募債」の発行企業数94社、寄付額1,476万円となりました。(2020年8月取扱開始以降累計:発行企業数181社、寄付額2,628万円)



「TABLE FOR TWO」(TFT)プログラム導入

2022年2月より千葉みなと本部および本店営業部の食堂においてTFTプログラムを導入しています。

TFTプログラムとは、先進国の私たちと開発途上国の子どもたちが食事を分かち合うことをコンセプトとする取り組みであり、職員が食堂で対象のヘルシーメニューを購入することにより、開発途上国の子どもたちの給食1食分に当たる20円が寄付される仕組みとなっています。



地方創生

地域金融機関として地域活性化に貢献すべく自治体との連携や地域との協力により、地方創生への取り組みに積極的に参画しています。

香取市佐原における町おこし

当行は、佐原信用金庫と共に出資している観光まちづくり会社、株式会社NIPPONIA SAWARAを通じて佐原地区の歴史的な観光資源を活用した地域振興に継続的に取り組んでいます。

2021年12月、株式会社NIPPONIA SAWARAは、一般社団法人サイエンスエデュケーションラボ監修のもと、文化・歴史を体感でき、学生やお子さま連れのご家族が1泊2日で楽しめる滞在型ツアーを企画しました。佐原周辺地域における滞在時間の延長と宿泊需要の喚起を図る試みで、モニターとして千葉大学の学生が参加しました。



いすみ市にてスタディーツアーを開催

2022年3月、当行が参画する地域商社株式会社SOTOBO ISUMIとミニトリップ株式会社共催で、いすみ市の魅力を学んでいただくスタディーツアーを開催いたしました。

当日は飯綱寺や菜の花が綺麗に咲くいすみ鉄道などを巡ったほか、いすみ市における株式会社SOTOBO ISUMIの取り組みをご紹介しました。当行はこれからも地域と連携し、地域の課題解決に向け積極的に取り組んでまいります。

京葉銀行のSDGs

SDGs宣言

ダイバーシティ&インクルージョンへの取り組み

個人の多様性を尊重し誰もが仕事や生活を充実させ、自分らしく活躍できる社会づくりに貢献してまいります。



ワークライフバランスの充実



従業員一人ひとりが仕事と家庭の両立をし、柔軟な働き方ができるよう制度の充実に努め、自らの価値観を大切にしながら就労を継続できるよう支援しています。



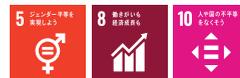
●男性の育児休業取得の促進

2022年4月、段階的に実施される育児・介護休業法の法改正に先駆け、育児休業の分割取得、出生時育児休業の取得を可能としました。また、雇用環境整備の一環として、制度改定のみならず、「2023年度男性育児休業取得率100%」の数値目標を掲げました。

●「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」の認定

2022年3月、経済産業省と日本健康会議が協同で選定する「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」に認定されました。

当行は2021年4月、行員の健康管理を経営課題として取り組むため「健康経営宣言」を制定しており、頭取を推進責任者とし、職員組合や産業保健スタッフ等と相互に連携しております。今後も従業員の健康増進への取り組みを一層強化するとともに、従業員のワークライフバランスのさらなる充実にも取り組んでまいります。



多様な人材が活躍できる環境整備

多様な価値観をもつ従業員が個々の能力を最大限に発揮し、いきいきと働ける環境整備を進めています。

●シニアスタッフ行員制度

2018年7月よりシニアスタッフ行員制度を導入しており、働く意欲のある行員を70歳まで継続雇用しています。培った知識や経験を活かし、後輩のよき手本となる指導者や金融市場における専門家として、2022年4月現在、83名が活躍しています。

●女性の活躍を推進

「キャリア開発支援」と「就業継続支援」を2つの柱として、女性のさらなる活躍を推進しています。

中期経営計画および女性活躍推進法に基づく行動計画において、2024年4月までに指導的地位(係長以上)に占める女性の割合30%以上を目標に掲げています。2022年4月は28.3%となっています。

指導的地位に占める女性比率



誰もが暮らしやすい社会づくり



ダイバーシティへの社会的関心が高まる中、「個」に対する理解促進が広がっており、地域社会やお客さまの幅広いニーズにお応えできるよう取り組んでいます。

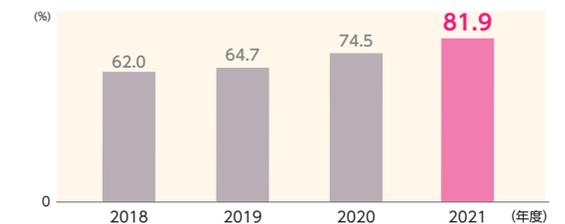
●「おりづるガチャプロジェクト」を応援

当行は、パラビジネスプロデュース事業を行う一般社団法人障害者就労支援ネットワークP&Pの「おりづるガチャプロジェクト」を応援しています。障がい者福祉事業所での内職作業によりおりづるを製作し、おみくじや手書きメッセージとともにカプセルに入れ、ガチャガチャで販売します。収益の一部を事業所へ還元し、この取り組みにおける障がい者の作業工賃が現状の10倍になることを目指します。

従業員満足度

●従業員満足度調査にて「当行で働くことに満足」と評価した行員の比率

仕事や職場環境に関する現状の課題を抽出し、より働きがいのある会社を目指すために従業員満足度調査を行っております。



京葉銀行のSDGs

SDGs宣言

環境保全への取り組み

社会全体の環境負荷低減と環境保全に取り組み、
低炭素・循環型社会の実現を目指してまいります。



環境へ配慮した取り組み



豊かな自然を守るため、本業を通じた環境保全への取り組みやCO₂削減などに向けた取り組みを行っています。

●「サステナビリティ委員会」の設置と目標の設定

サステナビリティ推進体制の高度化を図るため、頭取を委員長とする「サステナビリティ委員会」を設置しました。

また、持続可能な社会の実現に一層貢献し、投融资業務を通じて地域やお客さまの課題解決に向けた取り組みを支援するため、2021～2030年度を目標期間とする「ESG関連投融资目標」を設定し、脱炭素社会の実現に向けては、「CO₂排出量削減目標」を掲げました。

「サステナビリティ委員会」では、2030年度をターゲットとする「ESG関連投融资目標」や「CO₂排出量削減目標」の進捗状況等を一元的に管理してまいります。

ESG関連投融资

目標実行額	ESG関連投融资 累計7,000億円
期間	10年間(2021年度～2030年度)
対象の投融资	環境課題や社会課題の解決に向けた取り組みを支援・促進する投融资

CO₂排出量削減目標

	2030年度	2050年度
SCOPE1(事業者自らによる直接排出)	2013年度比 50%削減	カーボン ニュートラル実質 "ゼロ"を目指す
SCOPE2(他社から供給された 電気・熱等の使用に伴う間接排出)		

●「αサステナビリティ・リンク・ローン」「αグリーンローン」の取扱開始

2022年1月、「αサステナビリティ・リンク・ローン」「αグリーンローン」の取り扱いを開始しました。
「αサステナビリティ・リンク・ローン」は、お客さまがSDGs・ESG戦略における野心的かつ有意義な事業挑戦目標でSPTs(*)を設定し、達成状況に応じて、金利などの融資条件が変動する仕組みの融資商品です。

「αグリーンローン」は、持続可能な経済活動をサポートするグリーンプロジェクトを資金使途とする融資商品です。

お客さまのSDGs・ESG戦略の推進を通じた社会・経済問題の解決への貢献度を定量化して、お客さまの中長期的な企業価値の向上と社会的支持の獲得への貢献を目指してまいります。

(※)Sustainability Performance Targetsの略

お客さまごとの定めた社会の持続可能性に対する貢献度合いを測ることのできる年度ごとの目標

●千葉みなと本部の再生可能エネルギー電力への切り替え

2022年4月より、千葉みなと本部の使用電力の全量を、東京電力エナジーパートナー株式会社のトラッキング付きFIT非化石証書(*)が付与された再生エネルギーに切り替えました。

これにより、年間約1,400t(2021年度のグループ全体における使用電力の約17%)のCO₂排出量削減が見込まれます。これは、スギの木約10万本が1年間に吸収するCO₂に相当します。

(※)再生可能エネルギーの売買を可能とする非化石証書のうち、太陽光、風力、水力などのFIT電力が対象のもの

千葉大学×京葉銀行
ecoプロジェクト

本プロジェクトでは、SDGsの達成に向けて、「地域の環境負荷削減と環境意識の向上に貢献したい」との想いで、千葉県内の皆さまを対象に、環境啓発活動を実践しています。

●竹林整備事業の実施

2021年10月、12月に当行行員と千葉大生によって整備された竹林で、2022年4月、清掃活動とタケノコ掘りを行い、採れたての旬の幸を堪能しました。また、整備作業の一環で間伐した竹を活用してスマホスピーカーを製作する体験や、竹材をバイオプラスチック原料にする工場加工ラインの一部を見学し、竹材の幅広い活用方法について学びました。



●廃棄コスメを利用したお絵描き&ゴミ拾いイベント

2021年12月、地域の子どもたち38名が参加し、株式会社モーニングスター協力のもと、化粧品から絵の具を作り、塗り絵や木箱に絵を描く「コスメペインツ」を楽しみ、あわせて千葉大学キャンパス周辺歩道のゴミ拾いも行いました。参加者たちはこの体験を通じて、リユースやリサイクルだけでなく、アップサイクルへの関心も高めることができました。

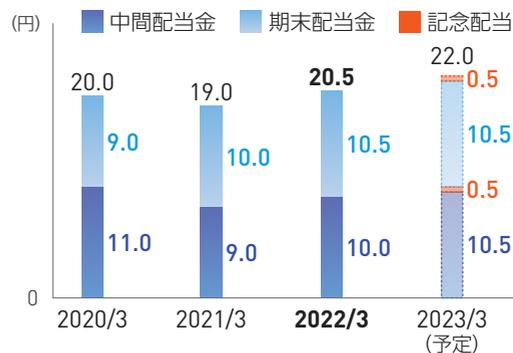


株式情報／当行のプロフィール

●年間配当金（1株当たり）

2022年3月期の1株当たりの期末配当金は、10円50銭といたしました。これにより、中間配当金とあわせた年間の配当金は1株当たり20円50銭となります。

また、当行は2023年3月に創立80周年を迎えます。2023年3月期の1株当たりの配当金は記念配当中間、期末各50銭を加えた22円となる予定です。



●株主優待制度

株主の皆さまの日頃のご愛顧に感謝するとともに投資魅力を高め、より多くの株主さまに長期的に当行株式を保有していただくことを目的に株主優待制度を導入しています。

※くわしくはお近くの営業店、もしくは京葉銀行総務グループへお問い合わせください。

☎0120-367-300 受付時間:月～金 9:00～17:00
(祝日および12月31日～1月3日は除きます)



●株式の状況（2022年3月31日現在）

株式数	発行可能株式総数(千株) 発行済株式の総数(千株)		株主数	16,945名
	395,014	135,927		

(注)株式数は千株未満を切り捨てて表示しています。

●大株主（2022年3月31日現在）

氏名または名称	持株数等 (千株)	持株比率 (%)	氏名または名称	持株数等 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,795	9.20	住友生命保険相互会社	3,561	2.77
株式会社千葉銀行	6,106	4.76	損害保険ジャパン株式会社	3,378	2.63
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,881	4.58	千葉県民共済生活協同組合	3,100	2.41
京葉銀行職員持株会	4,306	3.35	明治安田生命保険相互会社	2,969	2.31
三井住友海上火災保険株式会社	3,759	2.93	住友不動産株式会社	2,509	1.95

(注) 1.上記のほか、当行所有の自己株式7,727千株があります。
2.持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
3.持株比率は自己株式(7,727千株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

●株式のご案内

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により当行ホームページに掲載します。 (ホームページアドレス https://www.keiyobank.co.jp) ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵送物送付先) お問合せ先	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎0120-707-843 特別口座でのお手続き用紙のご請求をインターネットでもお受けしています。 ホームページアドレス https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html (一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できません)

●役員の状況（2022年6月28日現在）

取締役

取締役頭取(代表取締役)	取締役副頭取(代表取締役)	取締役 専務執行役員	取締役 常務執行役員
熊谷 俊行	橋本 清	秋山 智	市川 達史
取締役 常務執行役員	取締役 常務執行役員	社外取締役	社外取締役
藤崎 一男	小坂 裕巳	秋山 勝貞	内村 廣志
社外取締役	社外取締役		
戸部 知子	上西 京一郎		

監査役

常勤監査役	常勤監査役
稗田 一浩	尾池 伸一
社外監査役	社外監査役
小野 功	花田 力
社外監査役	
岩原 淳一	

●当行のプロフィール



名称	株式会社京葉銀行	資本金	497億円
英文名称	The Keiyo Bank, Ltd.	総資産	6兆8,975億円
本店	千葉市中央区富士見一丁目11番11号	預金	5兆1,459億円
千葉みなと本部	千葉市中央区千葉港5番45号	貸出金	3兆8,987億円

(2022年3月31日現在)

京葉銀行のコミュニケーションシンボル



「**K**」の文字が描く重なりと上方へ伸びてゆくラインは、人と人との“きずな”と、そこを出発点に無限に伸びてゆく未来をあらわしています。コミュニケーションネームの「アルファバンク」は、“人とのきずなを大切に、無限の未来を切り開いてゆきたい”“常に皆さまにプラスアルファを提供し続ける銀行でありたい”そんな京葉銀行の思いをあらわしています。

確かな“きずな”を、未来へ。



本店

千葉みなと本部

TEL.043(306)2121

〒260-0015 千葉市中央区富士見 1-11-11

〒260-0026 千葉市中央区千葉港 5-4-5

<https://www.keijobank.co.jp/>



※PDF版は認証紙に印刷された認証印刷物データを
使用して作成しています。

2022年6月発行



京葉銀行公式アカウント

@keijobank ぜひお友達登録してくださいね!

楽しいコンテンツやLINE限定の特典も!

LINEアプリで公式アカウントを検索

京葉銀行

またはLINEアプリの
QRコードリーダーで!

